



病医院を受診する際にもっとも大切なのは、お医者さんとの間に「よい関係」をつくることです。すべてをお医者さんに任せるのではなく、自分から「治りたい」という意志をもち、お医者さんと一緒に病気に向き合っていく、という関係です。そんな上手な付き合い方の一例をご紹介します。

病医院との 上手な付き合い方



体のことや病気のことを気軽に相談できる近所のお医者さん（かかりつけ医）をつくっておきましょう。

具合が悪いときは早めに受診しましょう。



いつまでも元気で長生きを

No.12

おたっしゃ本舗

今月の福祉

多久市地域包括支援センター（おたっしゃ本舗多久）は高齢者のみなさんが、住み慣れた多久市でいつまでも**元気で安心**して暮らしていけるように高齢者の生活をあらゆる面から応援する総合相談機関です。

生活の中で「困ったなあ」「どうしよう」と思うことがあったら、まずご相談ください。

多久市地域包括支援センター
（多久市役所 福祉課内）

問 ☎75-6033



初めて受診する場合は、病状や過去の病歴、飲んでいる薬などを正確に伝えましょう。口で言いにくい場合は、メモにしておくとうわかりやすいです。お薬ノートを持参や家族に付き添ってもらうのもよいでしょう。



医師の指示を守ってください。

治ったと自分で判断して薬を飲まないなど、途中で治療をやめないようにしましょう。

診察時は、聞かれたことを手短かつ的確に答えるようにしましょう。



予約している場合は時間を守るなど、他の患者さんに迷惑にならないようにしましょう。

